

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



自治体の概要



東松島市は、宮城県のほぼ中央にあり、太平洋に面し、石巻市、松島町等に隣接している。仙台市から電車で約40分。東北地方としては積雪が少なく温暖な地域である。

■人口:39,572人
(2020.10.1現在)
■面積:101.86km²



基地所属のブルーインパルス

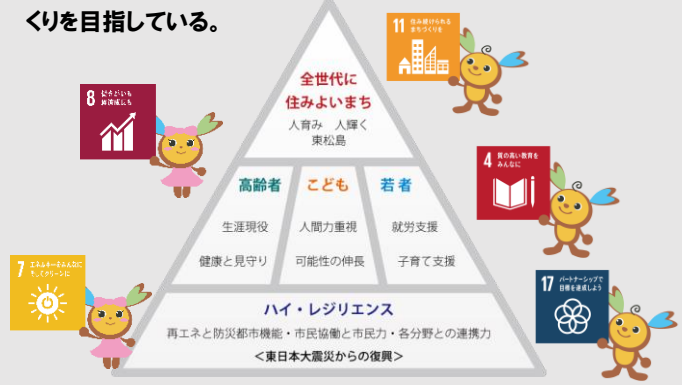


名産のカキ

今後のビジョン・計画

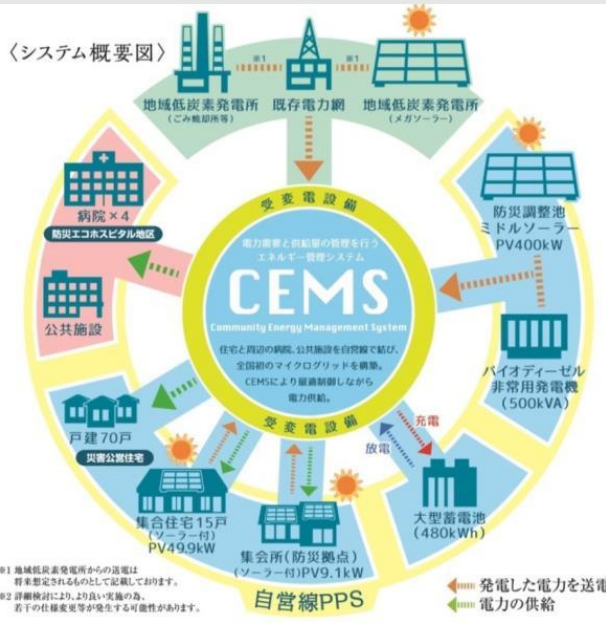
全世代グロウアップシティ東松島

東日本大震災で甚大な被害を受けた東松島市にとって、人口減少抑制と地域経済・社会を発展させることが大きな課題である。2030年に向けて、災害への高いレジリエンスを基盤に、こども・若者・高齢者の全世代にわたって住みよいまちづくりを目指している。



SDGsに関する特徴的な取組

東松島市スマート防災エコタウン



スマート防災エコタウン事業は、公営住宅・集会所・周辺の病院等を自営線で結ぶマイクログリッドを構築し、太陽光発電等により生じた電力をエリア内で地産地消する事業である。

災害に強いまちづくりと低炭素社会の実現を目指す取組である。設備を所有する市が、一般社団法人東松島みらいとし機構(通称:HOPE)に事業運営を委託している。

▶東松島市のSDGsの取組については下記URLからご覧下さい。
<http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/22.0.69.183.html>

スマート防災エコタウン 東松島市赤井地区



- ・スマート防災エコタウンのエリア内は、災害で広域停電が生じても最大3日間は普段通りの電力供給が可能。**ハイレジリエンスなまちづくりのモデル**といえる。
- ・電力供給管理業務や電気工作物保安管理業務で地元雇用を創出しており、**地域経済の活性化**に寄与している。
- ・太陽光発電など環境に配慮した発電により、**自立・分散型低炭素エネルギー社会**の構築に貢献している。